

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	－	－	－
(北関東)	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量はやや増えてきている。来客数の動きもやや増加傾向に感じている。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・本来の旅行需要が、少しみえてきている。
	○	競輪場（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、来場者の動向を注視していたが、減少傾向は見られず、まん延防止等重点措置期間中には順調である。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新たに事業展開する経営者が、動き出しているという印象を受けている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・当地では、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が不安定な状態で続いているので、外出を控える行動が徹底している。寒波の影響も強く、客の動きは悪い。土日はどうか動いているが、平日は本当に悪い。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上は101%、来客数97%、客単価103%となっている。2月はまん延防止等重点措置の影響も感じている。商材の値上げが客単価を押し上げている要因だが、これが続くとコンビニ客層の多くが、より安い店へと移るのではないかと心配である。また、その兆しもある。
	□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・原材料価格の高騰で、製品自体の入荷遅れがあり、計画的な運営に支障が出ている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前月と同様、新車や中古車等の売上は25%程度落ち込んでいる。ただし、車検等の整備売上が横ばいなので、赤字への転落は免れている。
	□	住関連専門店（店長）	それ以外	・まん延防止等重点措置が延長になり、全国的にも新型コロナウイルスの感染状況が依然として高止まりしている。そのため景気回復は見込めない。
	□	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・一番大きな要因は食料品、ガソリンや灯油等、燃料費の値上げで、客は無意識の内に防衛本能が働き、買上点数が減少傾向にある。
	□	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えたままで、当市でも、時折クラスターが起こっているため、慎重な人は外食を避けているようである。
	□	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大が止まらず、結局まん延防止等重点措置も延長になっている。元々オフシーズンではあるが、人出は伸びていない。
	□	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きは良くなったが、2年前の同月と比べると28%減少している。
	□	通信会社（社員）	単価の動き	・我々の業界では、資金力を背景に宣伝広告を行っている企業への契約変更が多々発生している。新型コロナウイルスの影響で、家計を見直し、少しでも安いサービスへ移行する客が増えているように感じている。
	□	通信会社（局長）	販売量の動き	・来客数は横ばいだが、家庭内通信環境整備のためのインターネット利用やスマートフォンへの問合せが増加している。
	□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響が長引き、経済回復への心配からか、最小限の発注が多く見受けられる。
	□	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・まん延防止等重点措置の延長により、飲食やサービス業は低迷している。建設も年度末で需要はあったものの、例年ほどではないようである。
	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、住宅や施設のリフォーム、修繕が思いの外、少ない。費用的な経済面のこともあるだろうが、工事関係者を含む部外者が家屋や施設内に立ち入ることを敬遠する傾向が依然としてあるようである。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、高齢者の来店が全くなくなっている。

▲	商店街（代表者）	それ以外	・当市では美術館の企画展イベントで全国から集客がある一方、近県にある支店では、新型コロナウイルス禍の影響で客が激減している。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、やや悪くなっている。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあるものの、依然として高い水準を維持している。また、まん延防止等重点措置の延長に伴い、外出自粛が顕著になっている。食料品は比較的堅調なもの、衣料品を中心にその他商材群は軒並み苦戦を強いられている。
▲	百貨店（店長）	販売量の動き	・再びまん延防止等重点措置が適用され、今月上旬までは回復傾向にあったものの、客足、売上共に、減少している。
▲	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてから、来客数は減少し、客単価の上昇は続いているが、前年を超えるまでには至らない。食品を始め、生活関連の値上げと、家計を締める話題も後押ししている感じがする。
▲	衣料品専門店（統括）	単価の動き	・私どものような祭礼用品を扱う店は、新型コロナウイルス対応で、大変な2年間だった。祭りやイベントが中止になり、普段使用する物ではないので、ほとんど販売できない状態が続いており、最悪である。
▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、まん延防止等重点措置の適用になってしまっからは、人出が極端に悪い。悪い状況がずっと続いている。当店の顧客は高齢者がほとんどだが、自己防衛に走っているようで、本当に人が出てこない。何とも言葉も出ないくらい悪い。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・依然として受注残が減少している。
▲	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当社は観光地を控えているので、観光客が来てホテルやレストラン関係が潤わないと、売上の的には厳しい。2月は修学旅行、卒業旅行のキャンセルが相次ぎ、大手もだが、中小のホテルは悲鳴を上げている。1週間～10日、客がゼロという日が続くので、どうしようもない状況である。そういったあおりというか、車の売行きや整備入庫台数は、12～1月と比べると、落ち込んでいる。2月はホテル関係がひどい状況である。
▲	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・展示会を開催しても、来店客が減少している気がする。車を見てもらっても、商談につながらないことが多い。
▲	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・今冬は全国的には降雪が多いようだが、北関東エリアでは山間部を除いて降雪量が少ない。また新型コロナウイルスの影響について、今回の感染拡大は子供が多く、家族での外出が一層減少している。感染動向が一番の原因のようである。また、いまだに商材入荷が不明確で先行きが見えない現状である。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響下でも、事業所給食部門は比較的安定して推移してきたが、ここに来て、特に、幼稚園、保育園で休園等が生じるようになり、食数減少、人員のシフト、食材調達変更等の対応が必要となってきている。今後、業績面への影響が心配される。
▲	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長に伴い、会合等が全てキャンセルになってしまっている。しかし、宿泊は動きがあるため、ホテル全体としてはやや悪くなっているという判断である。
▲	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用中のため、旅行需要はほとんどない。
▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長などもあり、前々年と比べて、いまだに来客数は戻っていない。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・前年同月比で販売量が2割近く減っている。商材の平均単価が上昇し、客の購買意欲にプレーキがかかっている。廉価商材は常に入荷待ちの状態である。

	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・ウクライナ情勢は対岸の火事ではない、足元の尖閣諸島問題にも飛び火することが懸念される。
	▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・建築関係では給湯器や便器の納品状況が極めて悪い。土地を求める動きも鈍い。賃貸関係は、移動の時期にもかかわらず、問合せが極端にない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・やはり新型コロナウイルスの影響のせいか、夜の街がさっぱりで、人通りが少なく閑散としている。空き店舗も大分増えている感じで、事務所関係も統合等で撤収が進んでいる。アパート等は、今のところほとんど動きはない。新型コロナウイルスが早く終息しないと経済のダメージは大きいのではないかと。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況も高止まりが続き、首都圏のまん延防止等重点措置も再延長が見込まれている。依然として、旅行したことを周りに言えないという客が多く、旅行者も少ない。旅行したとしても土産物の購入にはなかなかつながらない。
	×	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・特に、平日の来客数が減少しており、売上も大きく減少している。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・閑散期の2月ではあるが、前年比82%と非常に悪い。構成比の大きいエアコンが同60%、冷蔵庫、洗濯機が同90%と振るわず、耐久消費財の伸びがない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・小学校等がオンライン授業になり子供達が家に居るため、一番多い客層である年代が家から出られず、来客数が大きく減っている。また、あらゆる物の値上げで、少しずつ家計をひっ迫させているのも原因ではないか。まん延防止等重点措置が解除されても、いつもどおりに戻るかは不安である。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長による影響が多岐である。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	販売量の動き	・3～4月から、各メーカーの値上げが増えている。それに伴い、当社の売価も上がると思うので、客が買い控えるのではないかと考えている。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による、まん延防止等重点措置期間のため、レストランの集客が激減している。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響もあって、宿泊や料飲部門共に、軒並み予約がキャンセルとなり、1月よりも更に悲惨な状況になっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が、一番ひどい状況である。夜は人通りもなく悲惨である。通常なら深夜2時まで営業しているところを深夜1時までの時短営業にしているが、夜9時～1時までで1回も営業できない時が何回かある。新型コロナウイルス前に比べ4割ほどは、落ちている。給料は手取り一桁になっており、ひどい状況である。
	×	通信会社（経営者）	それ以外	・円安による仕入コストの増加で、悪くなっている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が全国的に広がるのと同時に、学生団体や一般観光客が大幅に減少している。
企業動向関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・商材の注文量が多くなってきている。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注金額等、いずれも増加している。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料の価格高騰に苦慮している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が減っていて、材料はなかなか入って来ない、更に材料価格は高騰している。売値は変わらないのに、もうどうにもならない状況で、多分当社だけではないと思うが、零細企業はかなり厳しい。

	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子は1～2月とほとんど変わりがなく、悪い状況だと思う。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月に入り、新生活用品、白物家電、調理家電、寝具等のインターネット販売向け商材は、前年並みの物量を確保している。しかし、ロシアの侵略による原油高もあり、協力用車費や燃料コストが高騰し、利益は薄くなっている。
	□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあり、人流が抑制されているように感じる。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・少し落ち気味だが、何とかまだ、というところである。少し前と比べると落ち込んでいる。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月に引き続き、自動車の組立ラインが計画どおりに稼働しない。部品の納入ができず、仕掛在庫も大量に抱えており、厳しい状況にある。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置の延長に伴い、取引先が休業を延長したり、新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、作業が延期となり、売上が減少している。また、燃料や資材の値上げもあり、利益率が悪化している。
	▲	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店やホテル等の宴会需要が消滅状態で、かなり厳しい。借入金の返済も始まっているのに、売上が上がらない状態である。
	▲	社会保険労務士	取引先の様子	・行動制限の影響は出ているものの、以前ほどではない。事業主との会話では、材料価格高騰の話題が多い。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、公共工事は順調に推移し、現政権まで順調である。業界としては大変有り難い。ただ、今回のロシアの行動は許し難く、大統領に罰を与えなければならないと思っている。まず第一に、ロシア国民が自助努力で大統領を罰せなければならない。今期の公共工事発注は前年比14%減、当社受注も前期比10%減と厳しい状況である。
	×	経営コンサルタント	それ以外	・まん延防止等重点措置の適用が長引いているために、県内の飲食店や対人サービスを主とする業種を中心に、地域経済は委縮している。人の流れが一部で滞り、経営不振の状態が続く企業が多い。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人が例年並みに増えている。
	○	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・自動車関連の派遣求人が増えている。
	□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・売上など、現在の状況をいろいろな方に聞いてみると、皆一様に非常に良くないということである。ただ新型コロナウイルスオミクロン株がだんだん収まってきたりという期待感のなかで、まだ最悪な状況ということではないという話も聞かれる。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業では半導体不足による入手困難や組立部材の入荷遅れによる受注の激変がある。また、前年は巢籠りやテレワーク需要があったが、今年度は落ち着いているため、求人を含める傾向にある。一方、化学製品卸売業は半導体分野が好調で、ルート配送や営業職等の求人が増加している。
	□	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・製造業関係で求人は増えているが、今後の新型コロナウイルスの影響を考慮して非正規雇用の募集が増加している。また、雇用調整助成金を活用している事業所からは、これ以上新型コロナウイルスの影響が長引けば、廃業を視野に入れているとの声がある。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・関係企業の状況を見ると、新型コロナウイルスの影響を受けて、良いところと悪いところが見受けられる。
	▲	—	—	—

	×	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	<p>・全般的に、新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあるので、募集をかけても、なかなか人が集まらない現状である。にっばちと言われるが、2月は原油価格高騰の影響を受けてガソリン価格が上がっているし、生鮮食料品等も若干上がっているような気がする。なかなか消費者にとっては厳しい。生産の方も生産調整で稼働している状況である。</p>
--	---	-----------------	--------	---